

○農業関連について

Q. 国の農業改革始動元年ともえられる今年度において、今後の農業に対する町長の施策を伺いたい。

A. 首都圏の生鮮食料品供給基地としての農業振興を図り、他の産業に負けない持続可能な力強い産業になることを目指していきたい。また農地の荒廃や遊休農地を防止し、土地の有効利用に取り組む。

〔副町長〕

Q. 全国的に野菜農家における「メ」の生産額の占める割合は決して多くないので、境町としては野菜生産を主とする農家にもう少し配慮した施策を執るべきだと思いがどうか。

A. ささまざまな施策の成果として、県の青果物銘柄産地の、レタスやネギ等が指定を受けており、今後は境地区野菜生産部会や認定農業者連絡協議会などと情報交換を行い、個人出荷の多い市場出荷者等の組織化の推進に努め、国や県の補助事業等を積極的に活用し、競争力の強い都市近郊型の園芸産地の推進に努める。

〔副町長〕

Q. 担い手と大規模農家に対して、農道の拡幅工事が有効な施策だと思いがどうか。

A. 土地基盤整備は効率的な事業ではあるが、現在の農業情勢の中では、全体の理解を得ることが大変難しい状況にありその推進に苦慮しているところで、農業農村整備事業の活用を図る中で、農道の整備を図ってきたい。

〔副町長〕

Q. 農家の直面している課題の労働力と雇用の在り方について。

A. 国・県の施策を注視し、関係機関、関係団体と連携をし、先進地における事例等を参考にしながら、営農支援体制の整備を検討していきたい。

〔副町長〕

*その他、道徳教育について質問した。

議席10番 田山 文雄 議員



○「ヘルプカード」の普及促進について。

Q. 障がいや難病を抱えた人が、緊急時や災害時に提示するための「ヘルプカード」を作成、配布する自治体もあるが、当町としての考えについて。

A. 先進地におけるヘルプカードの利用状況や普及方法、配付対象者の範囲などと、あわせて周辺自治体の普及状況も参考にしながら、研究検討をしていきたい。

〔民生部長〕

○自治体主体の「クラウドファンディング」について。

Q. クラウドファンディングとは、賛同するアイデアやプロジェクトに対して、誰でも簡単に寄付や少額のお金を支払うことができるネット上の仕組みのことであり、当町として

も導入していくべきと思うが、当町の考えについて。

A. 今後、十分な調査研究をしていきたい。

〔総務部長〕

○青少年の「インターネット依存」対策について

Q. 少子化と人口減少が進行する中、「インターネット依存」傾向は、青少年の健全な育成の妨げとも考えられ、未来を担う若年層に対して適切な対策が必要であり、今後の「依存」増加傾向を防止するための当町における現状と対策について。

A. 教員も研修に努め児童生徒の依存のサインを見逃さないよう学校を指導するとともに、保護者への啓発も行っていきたい。

〔教育次長〕

○土曜授業について

Q. 土曜授業を通じて子どもの育成に成果をあげている自治体もあるが、当町としての考えについて。

A. 土曜日を有意義に活用しながら、本町の児童生徒の学力向上を図るための授業、あるいは、地域における多様な学習や体験活動の機会の充実などを、積極的に取り入れるため、早急に、先進事例を調査・研究し、検討を進めていきたい

〔教育長〕

○学校給食センターについて

Q. 施設の老朽化が幾度も指摘されているが、今後の運営について。

A. 施設の老朽化が進んでいることから、給食センターの改築について

は、今後も基本的に給食センターを維持し、建替えについては、国からの有効な補助金の活用やPFI導入による公共施設の整備など、十分に検討していきたい。

〔副町長〕

編集後記

本年1月下旬に6名の議員で山形県蔵王町に通年議会制の研修に行ってきました。

通年議会制とは、会期を通年（丸1年間）とする議会です。これまでは、会期はある一定の期間と定められ、それが終わると議会は閉会し、次の会期が来るまでは議会としての活動ができませんでした。しかし、会期を通年とすることによって、常に議会が活動できる状態となるため、常任委員会を含め議会のさらなる活性化が期待できることが分かりました。

通年議会制は、北海道の白老町が2008年6月に全国で初めて導入しています。茨城県内では常総市が今年の5月から導入するそうです。通年会期となっても、従来の定例会スタイルを変えず、年4回（3月、6月、9月及び12月）、定期的に、まとまった期間に会議を開いて集中的に審議も行っているようです。休会後の再開は議長の権限であるため、議会側が主体的かつ迅速に会議を開けることとなります。

蔵王町では、3・11の大震災に際

して、すぐに議会を招集して追加予算執行を承認し、スムーズな復興に対応できたそうです。

境町議会も住民のニーズに応え、チェック機能の向上を目指して通年議会制の導入のメリット・デメリットを比較検討する時期に来ていると思います。

（櫻井 実）

第2回定例会のお知らせ

平成26年第2回境町議会定例会は6月16日(月)から20日(金)までの会期で開催される予定です。

6月16日(月)	本会議（開会、提出議案上程・説明）
6月17日(火)	本会議（一般質問）
6月18日(水)	本会議（一般質問）
6月19日(木)	常任委員会
6月20日(金)	本会議（採決、閉会）

◎広報編集委員会

委員長	濱野 健司
副委員長	青木 徹
委員	飯田 進
委員	櫻井 実
委員	青木 輝明